

順位	氏名（議席）	発言の要旨
15	小野 泰正（6）	<p>1. 魅力ある富士市を持続可能な観光地域とする、まちの振興につながるようなインバウンド対応</p> <p>近年、富士市には多くの外国人観光客が訪れておりますが、2024年には富士山夢の大橋におけるオーバーツーリズムが問題視され、適切な対応が求められたことも記憶に新しいところです。春には龍巖淵において、桜と川、富士山の美しい風景を求めて、多くの外国人観光客が訪れます。</p> <p>しかしながら、富士市は観光地としての魅力を有しながらも、多くの外国人観光客が通過するのみで素通りしてってしまうとの声も多く聞きます。富士市観光基本計画に基づき、富士市でも世界遺産富士山を最大限活用した観光振興を行ってきました。</p> <p>その中で、課題として、民間主体による個々の観光事業の創出や継続・発展を促し、これを支援するとありますが、富士市の市民・小売店舗・飲食店がインバウンドに対応し、観光を軸としたまちの振興を図っているのか、以下の点についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 現在、市はどのようなインバウンド対応をしていますか。</p> <p>(2) 外国人観光客が富士市の日常生活の場を訪れることによって発生し得る課題をどのように認識されていますか。</p> <p>(3) 言語の壁による不安が地域振興の妨げになるとの懸念もありますが、近年の機械翻訳・AI翻訳の発展により、外国人観光客の受入れが容易になっていると考えます。市民がこれらの技術を活用しやすい環境整備について、どのようにお考えでしょうか。</p> <p>(4) 市民や小売店舗、飲食店がインバウンド対応を進める際、多言語対応をはじめとする様々な課題に直面することが考えられますが、その際に相談できる支援体制は整備されていますか。</p> <p>(5) 今後、富士市における持続可能な観光地域づくりをどのように推進されるお考えでしょうか。</p>